学校番号	T4001

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）ICT ｴﾚﾒﾝﾀﾘｰｽｷﾙｽﾞ	単位数	１単位	年次	１～４
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業や日常生活において、一人一台端末をはじめとした各種 ICT 機器を活用するために必要な知識や技能を習得するため、現代の情報社会における最低限の活動を円滑に行えるようになることをめざします。アカウントの管理やタイピング、ハードウェアやソフトウェアの基本的な知識など、今後の ICT 学習を進めるために必要な、最も初歩的な知識や技能を学びます。クラウドの活用など、現在の情報化社会および、間もなく到来する Society5.0 に対応するための第一歩となる授業を展開します。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
アカウントやパスワードの設定や管理をはじめ、タイピング能力やハードウェア・ソフトウェアの基本的な知識等、今後の学習を進めるために必要な知識と技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
デバイス間を横断したサービスの連携や、各種サービスにおいてネットワークが果たす役割について、実習を通じて試行錯誤を繰り返しながら理解を深める。

【学びに向かう力、人間性等】
ICT 技術の習得が自らの生活をより豊かにしていくことを理解し、その知識や技術の向上のために粘り強く課題に取り組み続ける意欲や態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	与えられた課題の内容に応じて、適切な操作を行うために必要な知識と技能を身につけている。	与えられた課題の内容を読み解き、求められる結果を導くために必要な操作手順や用いることができている。	自らに不足している知識や技能を認識し、改善しようとする態度や粘り強く学修に取り組もうとする姿勢を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

4月	GoogleApps の基礎	● GoogleApps の使い方について理解する。 ● Chromebook の扱い方について理解する。 ● 学修を進める上で必要な教員とのコミュニケーションの取り方について理解する。	a:情報システムとそれを実現している情報の流れを理解する。 b:情報社会の法整備や情報モラルについて考え、行動することができる。 c:情報システムが社会へ与えている影響について自分の言葉で説明することができる。	成果物 ワーク シート 小テスト	成果物 ワークシート	成果物 振り返り シート ワーク シート 観察
5月	ChromeBook の基礎	● ChromeBook と Windows や Mac を搭載したコンピュータとの違いについて理解する。について考える。 ● ChromeBook のメリットとデメリットについて考える。 ● 一人一台端末として配布される ChromeBook と、市販 ChromeBook の違いについて理解する。	a:ChromeBook の基礎について理解できる。 b:ChromeBook のメリットとデメリットについて自分の考えを述べることができる。 c:粘り強く、Chromebook の活用方法理解に取り組もうとしている。	成果物 ワーク シート 小テスト	成果物 ワーク シート	成果物 振り返り シート ワーク シート 観察
6月	アプリケーションの利用と特徴	● 基本的な学習用アプリケーションの使用方法について理解する。 ● Web ブラウザの役割と、発展の歴史について理解する。 ● Web アプリとして提供される ChromeOS アプリと、スタンドアロンアプリの違いについて理解する。 ● Google サイトを利用して、CMS で簡易的な WEB サイトを作成し、これまでに学習した内容を自分でまとめ、成果を互いに批評する。	a:アプリケーションの基本的な利用方法を理解できる。 b:Web ブラウザの役割や特徴を理解し、CMS を用いて適切な情報表現を行うことができる。 b:情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。 c:粘り強く、わかりやすい WEB サイトを作ろうとしている。	成果物 ワーク シート 小テスト	成果物 ワーク シート	成果物 振り返り シート ワーク シート 観察
7月	ハードウェアの基礎1・タイピング基礎	● ディスプレイやキーボードなど、コンピュータの外側に見えているハードウェアの役割や機能について理解する。 ● ハードウェアの拡張方法や機能差・価格差について市場の製品などを例に挙げながら理解する。 ● 「今の自分の環境にもし何かをプラスするなら」というテーマで、仮想の予算設定のもとレポートを作成し、発表する。 ● ローマ字入力タイピングの基礎を理解し、練習に取り組む。	a:ハードウェアの役割や機能について理解できる。 a:ローマ字入力タイピングの基礎を理解し、入力できる。 b:ハードウェアの違いによる利点と課題を考慮したレポートを作成することができる。 b:自分の考えた文章をねらい通りに入力できる。 c:最新の情報ソースをもとに自分の考えをまとめ、自分の意見を述べることができる。	成果物 ワーク シート 小テスト	成果物 ワーク シート	成果物 振り返り シート ワーク シート 観察

8月	ハードウェアの基礎2・タイピング応用	● CPU やメモリ、ストレージなど、コンピュータの内側のハードウェアの役割や機能について理解する。 ● ハードウェアの規格や世代間の性能差、現在の市場における競争状況などを理解し、今後の展望を予想してレポートにまとめる。 ● 「自分に必要なスペックとは」というテーマで仮想の予算設定のもとレポートを作成し、発表する。 ● 単純に文字を入力するだけでなく、罫線を引いたり左右寄せを行うなど、装飾を施した来ピングに挑戦する。	a:ハードウェアの役割や機能について理解できる。 a:入力した文字に罫線や左右寄せなどの装飾を加えることができる。 b:ハードウェアの違いによる利点と課題を考慮したレポートを作成することができる。 c:最新の情報ソースをもとに自分の考えをまとめ、自分の意見を述べることができる。	成果物 ワーク シート 小テスト	成果物 ワーク シート	成果物 振り返り シート ワーク シート 観察
※前期のみの開講のため後期（10 月～3 月）は実施しない。						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度